

調査結果の概要

I 人口の動向

1 総人口

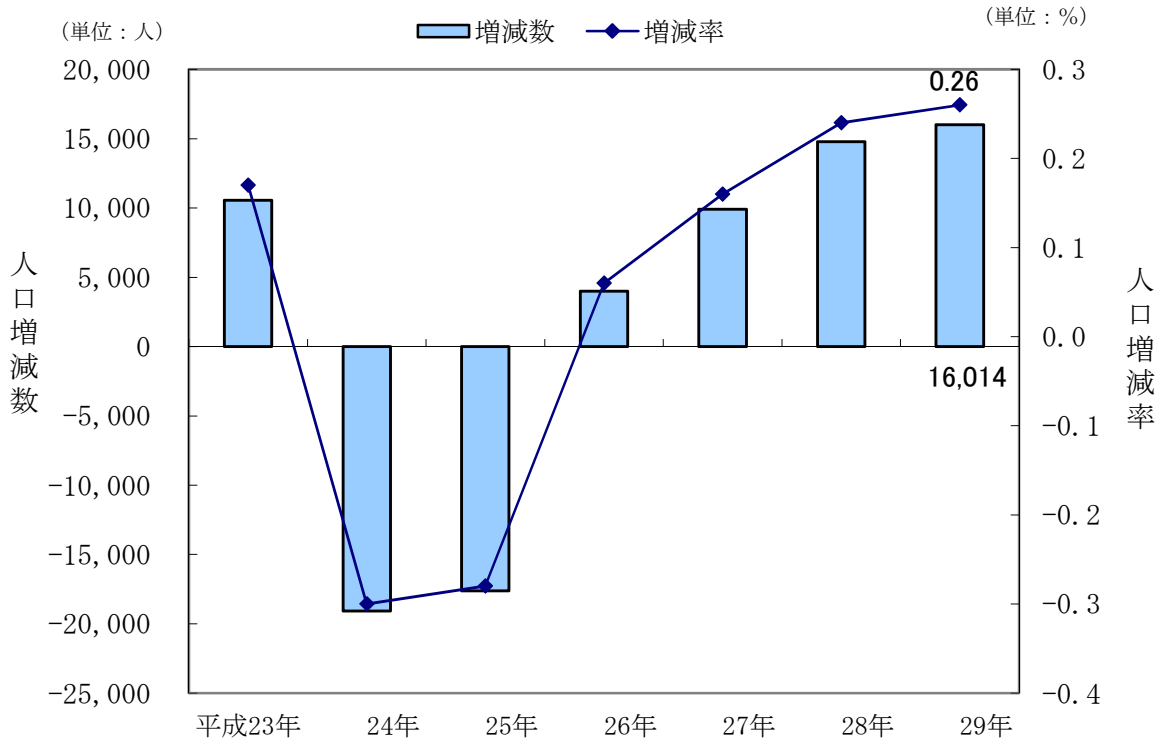
(1) 千葉県

平成29年4月1日現在の千葉県の総人口は、6,285,160人で、平成28年4月から平成29年3月までの1年間に16,014人(0.26%)増加した。平成26年度から4年連続で増加となっている。(表1、図1)

表1 総人口の推移

年次	総人口(人)	増減数(人)	増減率(%)
平成23年	6,277,160	10,552	0.17
24年	6,258,078	-19,082	-0.30
25年	6,240,461	-17,617	-0.28
26年	6,244,455	3,994	0.06
27年	6,254,359	9,904	0.16
28年	6,269,146	14,787	0.24
29年	6,285,160	16,014	0.26

図1 総人口の人口増減数及び増減率の推移



(2) 市町村

人口が最も多いのは、千葉市の966,154人となっている。次いで、船橋市の632,341人、以下、松戸市492,787人、市川市482,544人、柏市413,657人の順となっており、この5市で千葉県総人口の47.5%を占めている。(表2)

また、人口が最も少ないのは、神崎町の6,251人となっている。次いで、長柄町の7,185人、以下、睦沢町7,211人、芝山町7,482人、御宿町7,648人の順となっている。(表3)

表2 多い順

順位	市町村名	人口(人)	総人口に占める割合(%)
1	千葉市	966,154	15.37
2	船橋市	632,341	10.06
3	松戸市	492,787	7.84
4	市川市	482,544	7.68
5	柏市	413,657	6.58

表3 少ない順

順位	市町村名	人口(人)	総人口に占める割合(%)
1	神崎町	6,251	0.10
2	長柄町	7,185	0.11
3	睦沢町	7,211	0.11
4	芝山町	7,482	0.12
5	御宿町	7,648	0.12

2 男女別人口

男女別人口は、平成29年4月1日現在で男性3,137,911人、女性3,147,249人となっている。平成28年4月から平成29年3月までの1年間に、男性は7,021人(0.22%)の増加、女性は8,993人(0.29%)の増加となった。

また、男女別人口の推移をみると、平成24年から女性の人口が男性の人口を上回り、その差は少し広がった。(表4、図2)

表4 男女別人口の推移

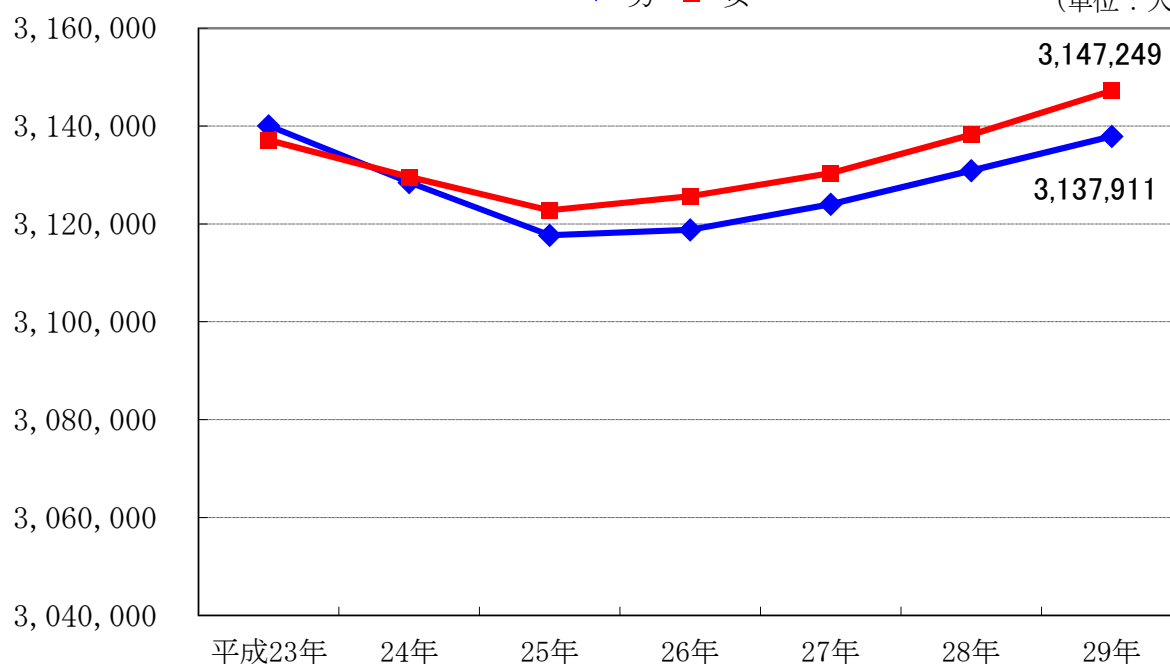
(単位：人)

年次	総数	男	増減数	増減率 (%)	女	増減数	増減率 (%)
平成23年	6,277,160	3,140,060	3,355	0.11	3,137,100	7,197	0.23
24年	6,258,078	3,128,454	-11,606	-0.37	3,129,624	-7,476	-0.24
25年	6,240,461	3,117,685	-10,769	-0.35	3,122,776	-6,848	-0.22
26年	6,244,455	3,118,792	1,107	0.04	3,125,663	2,887	0.09
27年	6,254,359	3,124,007	5,215	0.17	3,130,352	4,689	0.15
28年	6,269,146	3,130,890	6,883	0.22	3,138,256	7,904	0.25
29年	6,285,160	3,137,911	7,021	0.22	3,147,249	8,993	0.29

図2 男女別人口の推移

◆男 ■女

(単位：人)



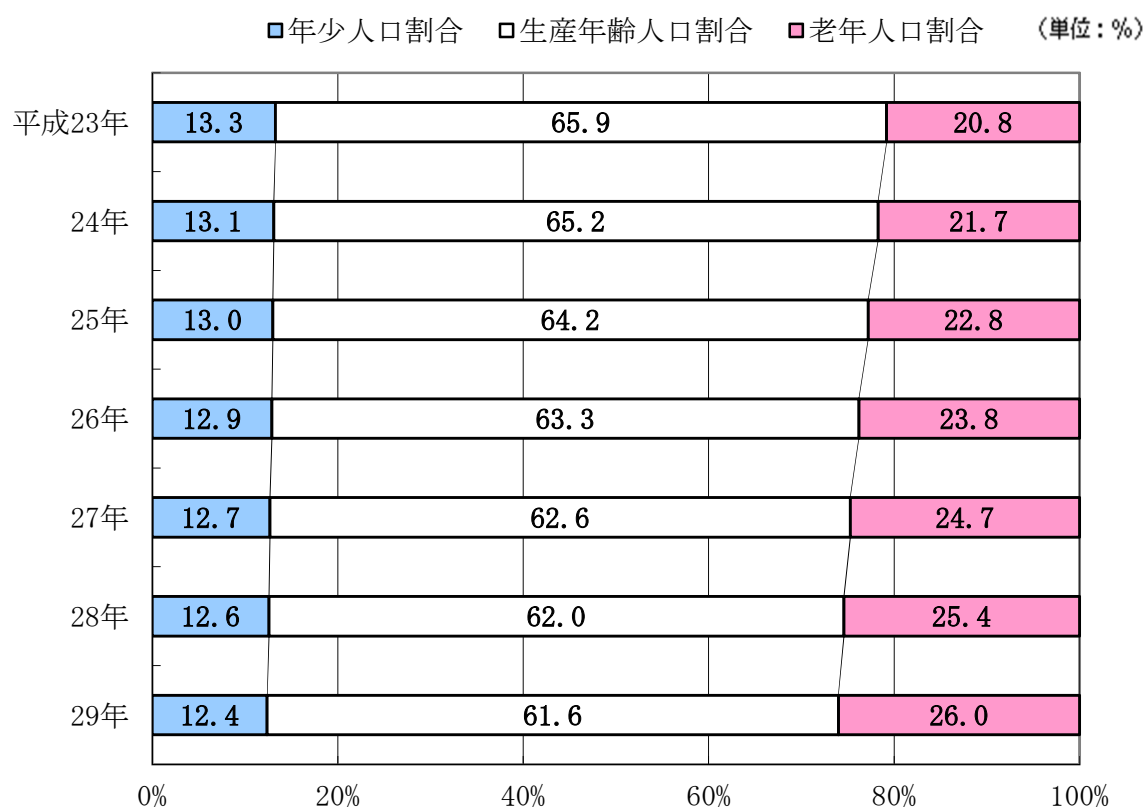
Ⅱ 年齢3区分別人口

1 千葉県

平成29年4月1日現在の千葉県の年齢3区分別人口は、0～14歳の年少人口が782,039人、15～64歳の生産年齢人口が3,871,704人、65歳以上の老年人口が1,631,417人となっており、それぞれ総人口に占める割合は、12.4%、61.6%、26.0%となっている。

これを平成28年4月1日現在と比べると、年少人口割合は0.2ポイント、生産年齢人口割合は0.4ポイントそれぞれ減少し、老年人口割合は0.6ポイント増加となっている。(本編第4表、図3)

図3 年齢3区分別人口割合の推移



2 市区町村

年少人口割合が最も高いのは、印西市の15.4%で、次いで、白井市の15.2%、以下、千葉市緑区15.1%、流山市14.9%、浦安市14.1%の順となっている。また、最も低いのは御宿町の6.8%で、次いで、鋸南町の7.0%、以下、勝浦市7.5%、長南町7.8%、長柄町8.3%の順となっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは、浦安市の69.5%で、次いで、市川市の67.1%、以下、千葉市中央区65.0%、成田市64.5%、千葉市緑区63.9%の順となっている。また、最も低いのは御宿町の44.7%で、次いで、南房総市の47.7%、以下、鋸南町47.9%、勝浦市、館山市の51.8%の順となっている。

老年人口割合が最も高いのは、御宿町の48.5%で、次いで、鋸南町の45.1%、以下、南房総市43.3%、勝浦市40.8%、大多喜町39.3%の順となっている。また、最も低いのは浦安市の16.5%で、次いで、市川市の20.7%、以下、千葉市緑区21.0%、印西市21.2%、成田市21.6%の順となっている。

(表5、表6、図4)

表5 高い順

(単位：%)

年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合
1	印西市	15.4	1	浦安市	69.5	1	御宿町	48.5
2	白井市	15.2	2	市川市	67.1	2	鋸南町	45.1
3	千葉市緑区	15.1	3	千葉市中央区	65.0	3	南房総市	43.3
4	流山市	14.9	4	成田市	64.5	4	勝浦市	40.8
5	浦安市	14.1	5	千葉市緑区	63.9	5	大多喜町	39.3

表6 低い順

(単位：%)

年少人口			生産年齢人口			老年人口		
順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合	順位	市区町村名	割合
1	御宿町	6.8	1	御宿町	44.7	1	浦安市	16.5
2	鋸南町	7.0	2	南房総市	47.7	2	市川市	20.7
3	勝浦市	7.5	3	鋸南町	47.9	3	千葉市緑区	21.0
3	長南町	7.8	4	勝浦市	51.8	4	印西市	21.2
5	長柄町	8.3	5	館山市	51.8	5	成田市	21.6

※割合は、小数点第2位を四捨五入している。

※割合が同率の場合、小数点第2位以下の値により順位を付けている。

図4 年齢3区分別人口割合（県・市区町村別）

■年少人口割合 □生産年齢人口割合 ■老年人口割合 （単位：%）

県	12.4	61.6	26.0
千葉市	12.7	62.2	25.1
中央区	12.3	65.0	22.7
花見川区	11.6	61.6	26.8
稲毛区	12.9	61.9	25.2
若葉区	11.5	58.7	29.8
緑区	15.1	63.9	21.0
美浜区	13.3	61.7	25.0
銚子市	8.7	56.5	34.8
市川市	12.3	67.1	20.7
船橋市	13.3	63.3	23.4
館山市	10.6	51.8	37.5
木更津市	13.3	59.9	26.8
松戸市	12.1	63.0	24.9
野田市	12.3	58.9	28.8
茂原市	10.9	58.3	30.8
成田市	13.9	64.5	21.6
佐倉市	11.7	58.8	29.5
東金市	11.3	61.5	27.2
旭市	12.0	59.5	28.5
習志野市	13.5	63.8	22.7
柏市	13.1	61.8	25.0
勝浦市	7.5	51.8	40.8
市原市	12.0	61.0	27.0
流山市	14.9	61.1	24.0
八千代市	13.8	61.8	24.5
我孫子市	12.0	58.9	29.1
鴨川市	10.0	53.2	36.8
鎌ヶ谷市	12.5	60.4	27.2
君津市	11.1	59.7	29.2
富津市	9.2	55.5	35.3
浦安市	14.1	69.5	16.5
四街道市	13.5	58.4	28.1
袖ヶ浦市	13.5	60.9	25.6
八街市	10.4	62.5	27.0
印西市	15.4	63.5	21.2
白井市	15.2	60.4	24.3
富里市	11.5	63.2	25.3
南房総市	9.0	47.7	43.3
匝瑳市	10.8	56.9	32.4
香取市	10.0	56.6	33.5
山武市	9.6	58.6	31.8
いすみ市	9.3	52.4	38.3
大網白里市	11.1	59.4	29.5
酒々井町	11.4	58.5	30.0
栄町	8.8	58.3	32.9
神崎町	9.5	58.5	32.0
多古町	9.2	56.6	34.2
東庄町	10.0	54.8	35.2
九十九里町	8.5	55.7	35.8
芝山町	10.1	58.2	31.7
横芝光町	10.7	55.5	33.8
一宮町	12.6	55.6	31.7
睦沢町	9.6	53.0	37.4
長生村	10.5	57.3	32.2
白子町	9.0	53.5	37.5
長柄町	8.3	55.7	36.1
長南町	7.8	53.4	38.8
大多喜町	8.7	51.9	39.3
御宿町	6.8	44.7	48.5
鋸南町	7.0	47.9	45.1

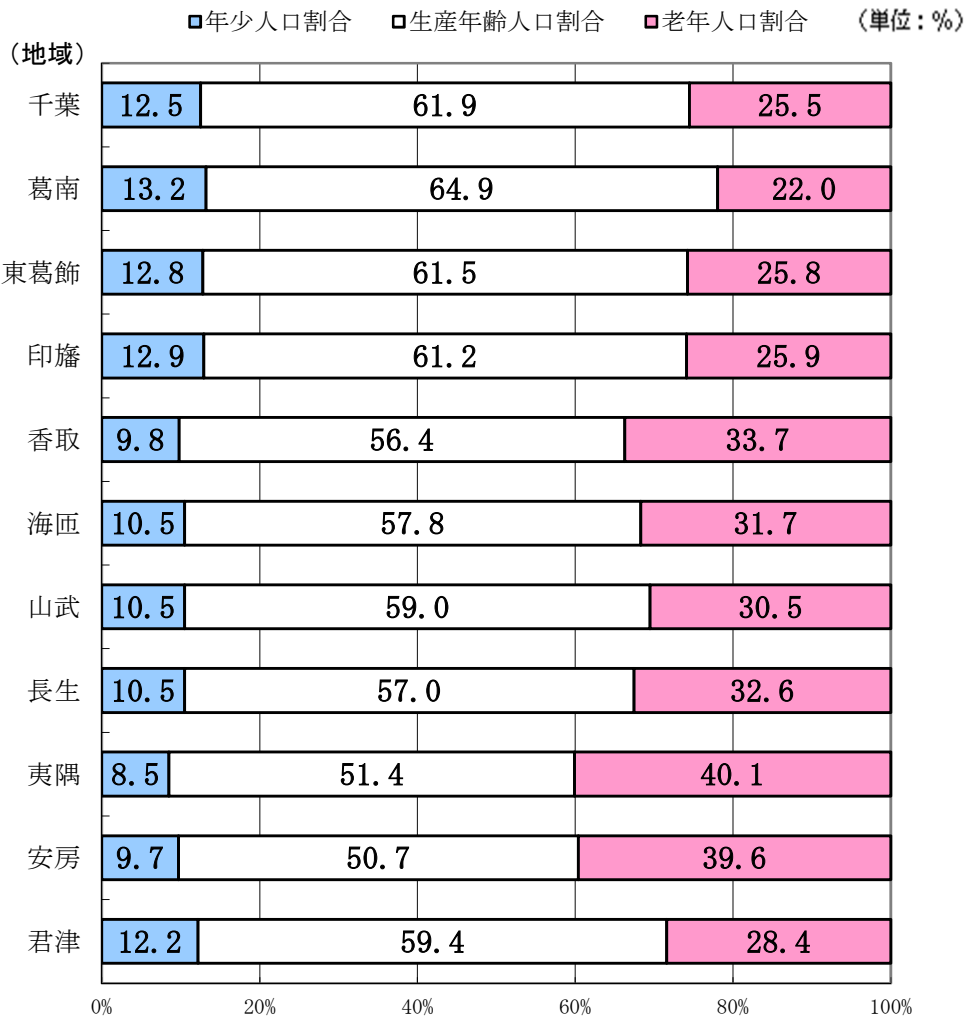
3 1 1 地域

年少人口割合が最も高いのは、葛南地域の13.2%で、次いで、印旛地域の12.9%、東葛飾地域の12.8%となっている。なお、年少人口割合が最も低いのは夷隅地域の8.5%である。

生産年齢人口割合が最も高いのは、葛南地域の64.9%で、次いで、千葉地域の61.9%、東葛飾地域の61.5%となっている。なお、生産年齢人口割合が最も低いのは安房地域の50.7%となっている。

老年人口割合が最も高いのは、夷隅地域の40.1%で、次いで、安房地域の39.6%、香取地域の33.7%となっている。なお、老年人口割合が最も低いのは葛南地域の22.0%となっている。(図5)

図5 年齢3区分別人口割合 (11地域別)



※割合は、小数点第2位を四捨五入している。

※割合が同率の場合、小数点第2位以下の値により順位を付けている。

Ⅲ 年齢（5歳階級、各歳）別、男女別人口

1 年齢5歳階級別人口

年齢5歳階級別にみると、40～44歳が502,237人で最も多く、総数に占める割合は7.99%となっている。

以下、45～49歳が501,838人で7.98%、65～69歳が494,182人で7.86%、35～39歳が414,326人で6.59%、50～54歳が401,613人で6.39%の順となっている。（表7）

表7 年齢5歳階級別人口

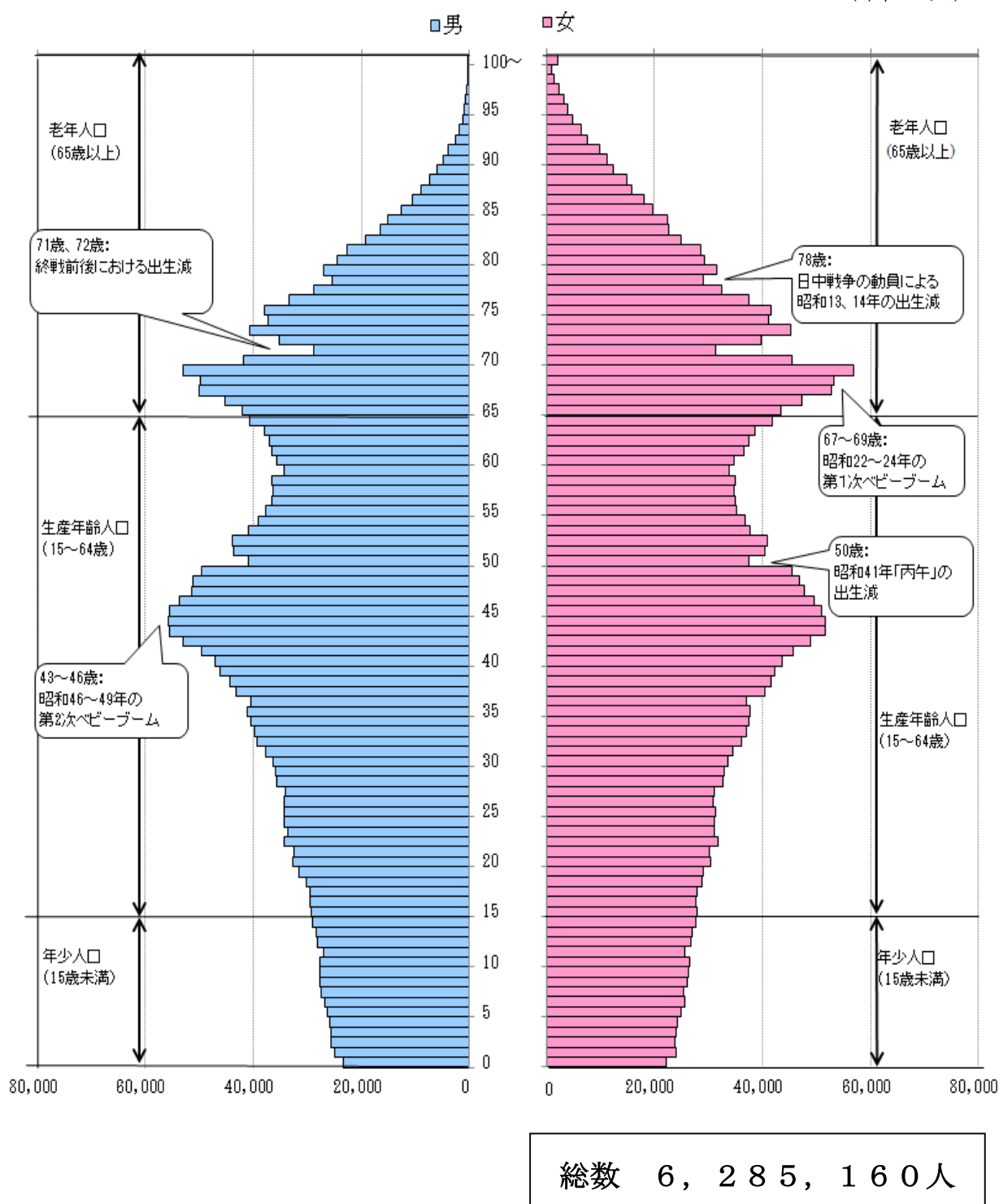
年齢	人口（人）	総数に占める割合（%）
総数	6,285,160	100.00
0～4	244,025	3.88
5～9	264,157	4.20
10～14	273,857	4.36
15～19	291,317	4.63
20～24	321,883	5.12
25～29	333,273	5.30
30～34	372,241	5.92
35～39	414,326	6.59
40～44	502,237	7.99
45～49	501,838	7.98
50～54	401,613	6.39
55～59	355,504	5.66
60～64	377,472	6.01
65～69	494,182	7.86
70～74	387,013	6.16
75～79	324,702	5.17
80～84	226,646	3.61
85～89	126,753	2.02
90～94	55,012	0.88
95～99	14,689	0.23
100～	2,420	0.04

2 年齢各歳別人口

年齢各歳別人口で最も人口が多いのは、第1次ベビーブーム世代に当たる69歳の110,016人で、次いで、第2次ベビーブーム世代となる44歳の107,179人となっている。(図6)

図6 千葉県人口ピラミッド

(単位：人)



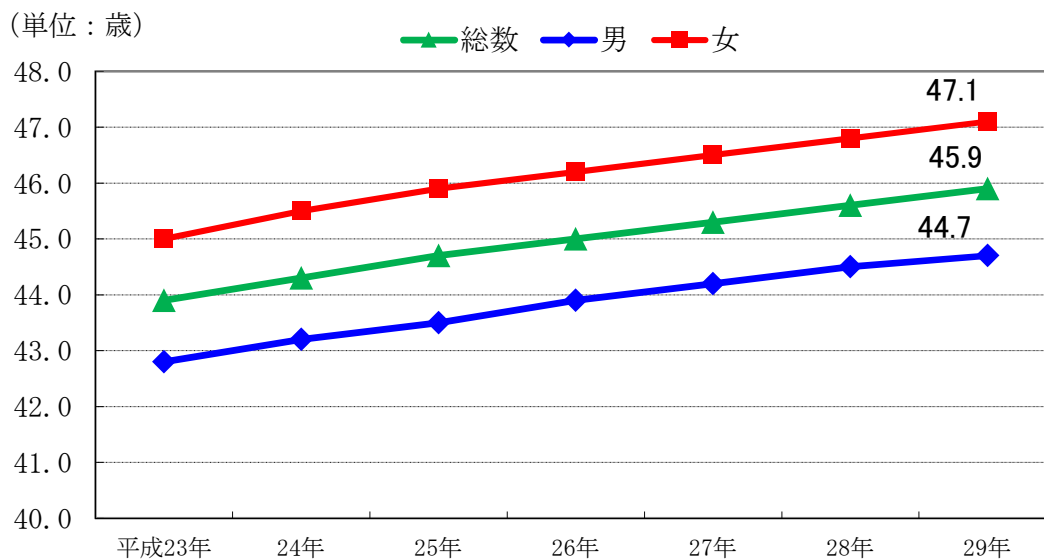
IV 平均年齢

1 千葉県

平成29年4月1日現在の千葉県の平均年齢は、45.9歳となっており、平成28年4月から平成29年3月までの1年間に0.3歳上昇している。なお、男女別にみると、男性の平均年齢は、44.7歳、女性47.1歳となっている。

また、千葉県の平均年齢は、平成23年から平成29年までの6年間で2.0歳上昇している。(本編第4表、図7)

図7 平均年齢の推移



2 市区町村

市区町村別の平均年齢が最も高いのは、御宿町の57.8歳となっており、県の平均年齢を11.9歳上回っている。以下、鋸南町56.7歳、南房総市55.4歳、長南町54.4歳、大多喜町54.2歳の順となっている。

また、平均年齢が最も低いのは、浦安市の40.8歳で、県の平均年齢を5.1歳下回っている。次いで、成田市43.1歳、千葉市緑区43.2歳、市川市43.5歳、印西市43.6歳の順となっている。(表8、表9)

表8 高い順

順位	市区町村名	平均年齢 (歳)
1	御宿町	57.8
2	鋸南町	56.7
3	南房総市	55.4
4	長南町	54.4
5	大多喜町	54.2

表9 低い順

順位	市区町村名	平均年齢 (歳)
1	浦安市	40.8
2	成田市	43.1
3	千葉市緑区	43.2
4	市川市	43.5
5	印西市	43.6